

教育目標 **「郷土を愛し、自分で考え、自ら行動する子どもの育成」**
重点目標 **「じっくり考え、伝え合い高め合う子どもの育成」**

いきいき立石っ子(38)

～やる気をもってともに前進～

令和6年3月7日 文責 小屋松 和行

「豊かに生きるために」(6年生)

P T A人権学習会を行った人権教育啓発センターに、1月25日(木)に6年生も見学に行きました。施設を見学させてもらい、人権教育啓発センターの香月先生から話を伺いました。市民の誰もが安心して生活できるようにするための小郡市の取組や、私たちの人権を守るために行われている活動等について説明していただきました。

また、実際に差別を無くす国際的な活動をされた、小郡市名誉市民の上杉さんについてのお話も聞きました。子ども達は、授業で学んだこととつなげて考えたり、積極的に質問したりして、自分たちも小郡市民として、誰もが安心して生活できる差別の無いまちづくりのために、自分にできることを考えていきました。

さらに、2月29日(木)には、P T A人権教育学習会でお話を聞いた松藤指導主事から、小郡市の人権を守るための取組について話を聞きました。松藤指導主事からは、①あなたは、自分と差別は「関係ある」・「関係ない」と思いますかと②「差別する」の反対の言葉は何でしょうという問いかけをしていただきました。また、「人がつくった差別なら、人の力で無くすことができる」という言葉をいただきました。



【上杉さんの記念碑】



【松藤指導主事の話】

エジプトとの交流(5年生)

2月20日(火)6校時に、5年生がエジプトのE J S校と交流しました。12月に英語で手紙のやり取りを行い、今回はその手紙の内容をさらに深めて話したり聞いたりしました。3つのグループに分かれて、少ない人数同士で会話を行いました。手紙を交換した相手とペアになり、Hello, O O. What can you do? やWhat do you like? などとお互いのできることや好きなことについて会話をしていきました。好きなことが同じ時は、Oh! Me too! と即興で反応を示していました。会話が終わった後は、じゃんけんをして交流を終えました。日本とエジプトとでは、じゃんけんの仕方が違うようで、その違いに興味を持っていました。今年度は、Zoomと手紙の交流を3回行うことができました。「前よりも英語が聞いてわかるようになった。」と嬉しそうに話している子もいました。一生懸命、伝え合おうとする姿に感動しました。



中学校体験入学(6年生)

2月22日(木)に6年生が中学生体験入学を実施してもらいました。これは、総合的な学習の時間の一環として取り組んでいる「立石小中学校新生活安心プロジェクト」と呼ばれるもので、中1ギャップの解消のために取り組んでいます。中学校生活の説明では、生徒会執行部を中心に中学校の1年間の行事や部活動を紹介してもらいました。

その後、授業や部活動を体験させてもらいました。今回の授業は、授業は、国語・算数・保健体育の4コースでした。子ども達、どの授業もとても楽しそうでした。部活動は、ソフトボール・野球・バレーボール・バスケットボール・卓球を体験させてもらいました。おかげで、中学校への入学がとても楽しみな様子でした。



【授業体験】



【部活動体験】

防火ポスター入賞 優秀賞 3年永利 愛桜さん
入選 3年内山 彩乃さん 3年福田 凜愛さん
下水道作文コンクール入賞 金賞 4年柳 興希さん

教育目標
重点目標

「郷土を愛し、自分で考え、自ら行動する子どもの育成」

「じっくり考え、伝え合い高め合う子どもの育成」

いきいき立石っ子(39)

～やる気をもってともに前進～

令和6年3月13日 文責 小屋松 和行

学校関係者評価の結果をお知らせします

学校運営協議会委員の皆様、本年度の学校経営方針に係る学校の自己評価結果、保護者アンケート結果等を見て評価していただきました。この結果を来年度の学校教育方針に生かしていきたいと思っております。

	評価結果 (○成果 ●課題)	学校の来年度に向けた改善策
未来に向かう「心」の育成	○相手を思いやる心を持ち、立石らしく素直で明るい子に育っていると思う。 ●今のいじめは陰湿化し気づきにくい。オープンな校風や子どもの関係性をさらに育ててほしい。	◇「いだく、いどむ、いかす」姿を教師が積極的に褒め、児童の非認知能力を高めていく。 ◇毎月のアンケートや教育相談、生徒指導交流会で児童をきめ細かに見取り、継続して組織的に対応していく。
生きて働く「知」の育成	●生きていくために必要な基礎学力（読む・書く・計算力）をつけてほしい。 ●主体的、対話的で深い学びに関して、意見が言えて、他人の意見をしっかりと聞くという姿勢を培ってほしい。	◇1段階の児童がいなくなるように、個別指導、補充指導を図り、基礎学力の定着を図る。 ◇タブレットを用いた交流活動を積極的に推進し、自分の考えを的確に伝え、相手の考えも聞き入れるような交流活動（ディベート等）を取り入れていく。
健康でたくましい「体」の育成	○「基礎体力の向上」に向けての取組は継続的に続けられていると思うので、これからも続けてほしい。 ●なわとび、一輪車、運動場でのランニングでの体力向上に努めてほしい。	◇前期（小1～4）、中期（小5～中1）、後期（中1、2）の発達段階に合わせた活動を考えていく。 ◇小学校では縄跳び検定を年2回行い、非常に主体的な活動となっている。今後は、中学生が教えるなどの計画を考えていく。
地域とともにある学校づくり	●立石校区には、「獅子舞」「よど」「花立山権現さん」など数多くの地域素材がある。地域人材も豊富なので活用してほしい。	◇総合的な学習「くろつちカリキュラム」では、小中学校が「人権」「地域」「キャリア」の観点で小中の縦のつながりを意識した学習を行い、「ふるさと学習」をさらに充実させる。
ICT活用力の育成	○機器操作の熟達は、目標達成が何え、随分学習に活用していると思う。 ●情報モラル教育にやや遅れが見られる。子ども達にとって非常に重要なテーマなので、徹底した推進をお願いしたい。	◇授業中のタブレット活用は進んでおり、タイピングも練習や検定の度に字数が増えてきている。 ◇非常に重要なことなので規範意識や情報モラルを向上させる取組を、児童だけではなく保護者も一緒に考える取組するため保護者の参加を全学年に広げる。
個に応じた学びの充実	●特別な配慮を要する児童の指導方法を工夫され、実践してほしい。保護者と先生方、専門の先生と連携を深めて、個々に応じた教育をお願いしたい。	◇現在も特別支援コーディネーターを中心に、個別最適な学習が進められるように工夫している。今後も、さらに専門家や保護者とも連携した取組を工夫していく。また、地域・家庭とともに、しっかり褒めて児童を伸ばしていく。
教職員の資質向上の推進	●先生方は、業務と自己研鑽で大変だと思ふ。個々のメンタルヘルスケアにも配慮していただきたい。 ●少ない人数の教職員、大変さがよく分かる。教職員の人数を増やしてほしい。	◇学年、ブロック等で声をかけ合い、ベテランの技術を若年教員に伝えたり、若年教員の悩みを聞いたりするなど、組織的に対応していくようにする。 ◇予算を考えながら、外部資源・民間資源の導入や活用を検討していく。
小中9年間を見通した指導体制の充実	●「小中一貫教育」の実施に伴い、保護者・地域と共に9年生の目指す姿に向かって、小中全教師で合同研修に取り組み「志をもって学び、地域に貢献する子ども」を育ててほしい。	◇今年度は、学校教育目標を「郷土を愛し、自分で考え、自ら行動する子どもの育成」と小中合同の目標ができた。今後、この目標のもと「くろつちカリキュラム」を小中の教職員で、縦のつながりをさらに考え実践していくようにする。
働き方改革の推進	●省力・簡略・分散できるものをもう一度分析する。コーディネーターや保護者の協力、外部部活動指導員の導入等により時間外勤務の短縮を図る。	◇次年度の支援員等の人材の確保、教科指導に、保護者ボランティアを導入するなど検討していきたい。 ◇来年度、校務運営システムの導入される。その使用方法を理解しながらペーパーレス化を図っていく。
人権・同和教育の啓発推進	●児童はよく学んでいるようだが、保護者に対してどう啓発していくかが課題である。 ●小中連携して人権感覚を磨く学習は大切。継続は力、徐々にしか身につかないと思う。	◇特に保護者人権学習参観では、積極的な参加を呼びかけ、懇談会まで残ってもらうように呼びかける。 ◇日々の子ども達の行動や言動を注視し、ささいな変化も見落とさないように職員同士で声をかけ合う。 ◇令和6年度には、小中のカリキュラムをつき合わせ、小中一貫の人権カリキュラムを作成する。

教育目標 「郷土を愛し、自分で考え、自ら行動する子どもの育成」
重点目標 「じっくり考え、伝え合い高め合う子どもの育成」

いきいき立石っ子(40)

～やる気をもってともに前進～
令和6年3月21日 文責 小屋松 和行

6年生とのお別れ集会

3月1日(金)に、6年生とのお別れ集会を行いました。1年生はメダル渡しとよびかけ、歌、2年生は劇「スイミー」と歌、3年生はかっこよかったランキング、4年生はリコーダーと替え歌、よびかけ、5年生は合奏とプレゼントと各学年とても工夫していました。6年生からも合奏とプレゼントがありました。



表現発表会かと思うぐらい、とてもレベルの高い出し物で子ども達の表現力には感心しました。それぞれの学年の発表を静かに聞くことができる態度にも感心しました。6年生への感謝の気持ちがしっかり伝わる集会をすることができました。保護者の皆様もたくさん見に来ていただきありがとうございました。

【フラワートンネルで入場】 【6年生から合奏のプレゼント】

PTA新運営委員会

3月5日(火)に、PTAの新旧運営委員会を行いました。写真のように、新の運営委員さんにも来ていただき運営委員会の様子を見ていただきました。今年の運営委員さん方は、コロナウィルス感染の心配も減り、活動がコロナ禍前に戻っていききましたので、とても大変だったと思います。それにもかかわらず、夏休みの立石ふれあいレクリエーションを新たにしてくださったり、運動会のPTA種目を復活させていただいたり主体的に活動していただき本当にありがとうございました。来年度の運営委員さん方もどうぞよろしくお願いいたします。



中学校の先生が乗り入れ授業

3月4日(月)と11日(月)に、中学校の船津先生が6年生に音楽の授業(乗り入れ授業)をしてくださいました。発声の仕方と卒業式の歌の指導をしていただきました。中学校の先生の専門性の高い授業を受け、子ども達もとても楽しそうでした。中1ギャップの壁も低くなるし、小中一貫校実施に伴いこのような乗り入れ授業が日常的に行うことができるとよいと思います。



卒業、おめでとうございます

3月14日(木)第113回卒業式を行いました。6年生みんなが元気に胸を張って立石小学校を巣立っていきました。

6年生はこの1年間、新1年生のお世話に始まり、様々な場面で学校全体を支えてくれました。また、縦割り班活動や学校行事では、リーダーとしてみんなを引っ張り、素晴らしい立石小学校をつくってくれました。「やる気をもってともに前進する」姿がとても立派で、よいモデルを下級生に示してくれました。大変ありがたく思っています。中学校でのさらなる成長、活躍を願っています。

これからは、6年生から引き継いだ5年生がしっかり頑張り、さらに素晴らしい立石小学校をつくってほしいです。



【6年生から5年生への校旗渡し】

春休みの学習について

各学年、学習課題を持ち帰りますので、声かけ・見守りをよろしくお願いいたします。学力調査の結果を見られて、苦手克服のための家庭学習もよろしくお願いいたします。タブレットと充電器は1～5年生は家庭に持ち帰ります。タイピングは、3・4年生が1分間50文字以上、5・6年生が1分間60文字以上(来年度の到達目標)を目標に、春休みに練習しておくとうよいと思います。また、通学路を一緒に歩いて、安全な登下校の仕方について話し合ってください。

【4月行事予定】

5日(金) 赴任式・始業式 交通指導(～11日)
集団登校(～4月26日)
8日(月) 4時間授業 給食開始
10日(水) 入学式準備
11日(木) 入学式
15日(月) 1年生給食開始(1年生は、5月9日まで4時間授業)

17日(水) 歓迎集会 歓迎遠足
18日(木) 全国学力・学習状況調査(6年)
PTA全体委員会・運営委員会
22日(月) クラブ活動(各学級でアンケート)
26日(金) 学級懇談会 学校説明会 PTA総会
※家庭訪問は5月に行います。
1日松崎、2日上岩田・今隈・花立、7日井上、8日吹上・佐野古・下鶴・立石・干潟・乙隈、9日予備日